

運用報告書 (全体版)

第1期<決算日2017年10月12日>

たわらノーロード NYダウ

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式 (インデックス型)	
信託期間	2017年3月21日から無期限です。	
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	たわらノーロード NYダウ	NYダウ・インデックス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
	マザーファンドにおいては、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース、為替ヘッジなし) への運動性を高めるため、上場投資信託証券に投資を行う場合があります。また、有価証券先物取引等を活用する場合があります。	
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。	
	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。株式への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。) に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益 (マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額 (以下「みなし配当等収益」といいます。)) を含みます。) および売買益 (評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「たわらノーロード NYダウ」は、2017年10月12日に第1期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入比率	株式先物比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中騰落率				
(設定日) 2017年3月21日	円	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%	百万円
	10,000	-	-	2,309,030.62	-	-	-	-	300
1期 (2017年10月12日)	11,236	0	12.4	2,572,056.02	11.4	90.9	-	9.4	582

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 株式先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注5) 「Dow Jones Industrial Average」（ダウ・ジョーンズ工業株価平均）はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、DJIA®、The Dow®、Dow Jones®およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが委託会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基準価額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		株式組入 比	株式先物 率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
(設定日) 2017年3月21日	10,000	—	ポイント (3月22日) 2,309,030.62	—	—	—	—
3月 末	10,070	0.7	2,325,528.79	0.7	95.3	—	4.9
4月 末	10,119	1.2	2,335,011.70	1.1	98.5	—	1.4
5月 末	10,140	1.4	2,333,429.89	1.1	97.3	—	3.0
6月 末	10,366	3.7	2,384,147.84	3.3	95.7	—	4.8
7月 末	10,481	4.8	2,408,974.84	4.3	95.8	—	3.9
8月 末	10,550	5.5	2,417,361.62	4.7	90.8	—	8.8
9月 末	11,018	10.2	2,523,032.29	9.3	93.0	—	6.7
(期 末) 2017年10月12日	11,236	12.4	2,572,056.02	11.4	90.9	—	9.4

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

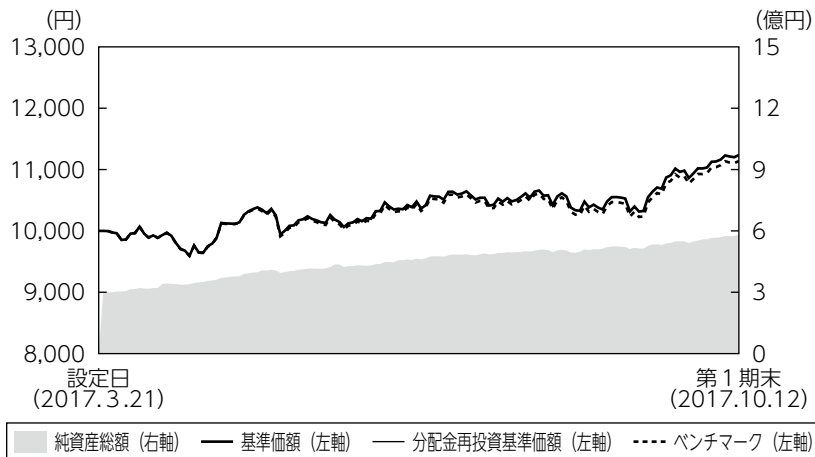
(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託受益証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2017年3月21日から2017年10月12日まで）

基準価額等の推移



設定日：10,000円
第1期末：11,236円
(既払分配金0円)
騰落率：12.4%
(分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は設定当初の金額に合わせて指数化しています。なお、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を表示しています。
- (注4) ベンチマークは、設定時の値を10,000として指数化しています。

基準価額の主な変動要因

設定当初は、米国株式が軟調に推移し、ドルが対円で下落したことから基準価額は下落しました。4月下旬以降は、フランス大統領選挙でマクロン氏が当選したことを支援材料に、米国株式が上昇しドルも反発したことから、基準価額は上昇に転じました。その後は、ドル円は上下に振れましたが、米国株式が上昇基調となったため、基準価額は概ね上昇基調をたどりました。

投資環境

設定来の米国株式市場は、大幅な上昇となりました。設定当初は軟調な展開となりましたが、4月下旬以降、フランス大統領選挙でマクロン氏が当選したことを支援材料に上昇しました。7月には、米国の好調な経済指標や良好な企業業績の発表を受け一段と上昇しました。8月には北朝鮮問題やハリケーンの影響を受けて軟調な展開となりましたが、9月にはF R B（米連邦準備理事会）によるバランスシートの縮小開始決定を受けた長期金利の上昇や原油価格の上昇を好感し、米国株式市場は再び上昇基調に戻りました。

設定来のドル／円相場は、1ドル=108～114円台での値動きとなりました。米国株式が下落し、リスク回避的な市場環境時には円高ドル安が進み、1ドル=108円台を付ける局面がありましたが、いずれも短期的な動きにとどまりました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

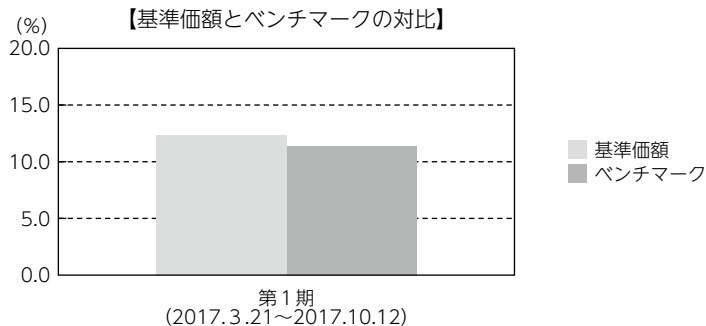
●NYダウ・インデックス・マザーファンド

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

※運用状況については12ページをご参照ください。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは設定来で11.4%上昇しました。当ファンドはベンチマーク比で+1.0%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、当ファンドに組入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2017年3月21日 ～2017年10月12日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,235円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、NYダウ・インデックス・マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●NYダウ・インデックス・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動した投資成果をめざします。

■ 1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期 (2017年3月21日 ～2017年10月12日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	14円	
(投信会社)	(6)	(0.061)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(6)	(0.061)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託銀行)	(2)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.031	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.014)	
(投資信託受益証券)	(2)	(0.017)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	13	0.128	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(12)	(0.120)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(1)	(0.005)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	31	0.296	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2017年3月21日から2017年10月12日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
N Y ダウ ・ インデックス ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	552,339	559,911	34,895	36,525

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	485,972千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	427,091千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	1.13

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2017年3月21日から2017年10月12日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 300	百万円 -	百万円 -	百万円 300	当初設定時又は当初運用時における取得

■組入資産の明細

親投資信託残高

	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
NYダウ・インデックス・マザーファンド	千□ 517,443	千円 582,278

■投資信託財産の構成

2017年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
NYダウ・インデックス・マザーファンド	582,278	99.8
コール・ローン等、その他	1,151	0.2
投資信託財産総額	583,430	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2017年10月12日現在、NYダウ・インデックス・マザーファンドは581,636千円、98.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.45円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	583,430,107円
コール・ローン等	1,151,306
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	582,278,801
(B) 負 債	1,131,391
未払解約金	1,047,986
未払信託報酬	81,956
その他未払費用	1,449
(C) 純資産総額(A-B)	582,298,716
元 本	518,252,114
次期繰越損益金	64,046,602
(D) 受益権総口数	518,252,114口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,236円

(注) 設定当初の投資元本額は300,000,000円、当期中における追加設定元本額は311,138,777円、同解約元本額は92,886,663円です。

■損益の状況

当期 自2017年3月21日 至2017年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△471円
受 取 利 息	38
支 払 利 息	△509
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	55,207,183
売 買 損 益	58,935,563
売 買 損 益	△3,728,380
(C) 信 託 報 酬 等	△624,371
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	54,582,341
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,464,261
(配 当 等 相 当 額)	(△85)
(売 買 損 益 相 当 額)	(9,464,346)
(F) 合 計(D+E)	64,046,602
次 期 繰 越 損 益 金(F)	64,046,602
追 加 信 託 差 損 益 金	9,464,261
(配 当 等 相 当 額)	(496,166)
(売 買 損 益 相 当 額)	(8,968,095)
分 配 準 備 積 立 金	54,582,341

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,101,074円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	49,481,267
(c) 収 益 調 整 金	9,464,261
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	64,046,602
(f) 1万口当たり当期分配対象額	1,235.82
(g) 分 配 金	0
(h) 1万口当たり分配金	0

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。

NYダウ・インデックス・マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2017年10月12日）

（計算期間 2017年3月21日～2017年10月12日）

NYダウ・インデックス・マザーファンドの第1期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2017年3月21日から無期限です。
運用方針	ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）に連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場する株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式組入率	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	(円換算ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中騰落率				
(設定日) 2017年3月21日	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%	百万円
1期(2017年10月12日)	10,000	—	2,309,030.62	—	—	—	—	299
	11,253	12.5	2,572,056.02	11.4	90.9	—	9.4	582

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注3) ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）です。なお、算出にあたっては基準価額への反映を考慮した日の米ドルベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています（以下同じ）。

(注4) 「Dow Jones Industrial Average」（ダウ・ジョーンズ工業株価平均）はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJ」）の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、DJIA®、The Dow®、Dow Jones®およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが委託会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

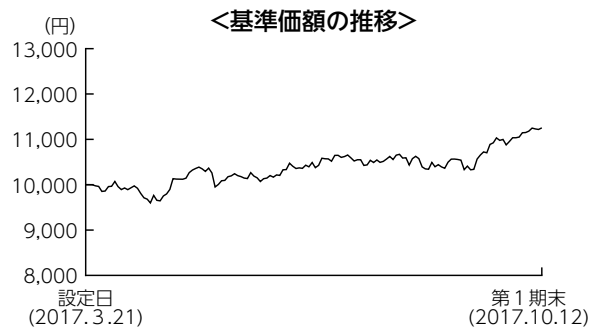
年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工 業 株 価 平 均		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(円換算ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	騰 落 率			
(設定日) 2017年3月21日	円	%	ポイント (3月22日)	%	%	%	%
	10,000	—	2,309,030.62	—	—	—	—
3 月 末	10,071	0.7	2,325,528.79	0.7	95.2	—	4.9
4 月 末	10,122	1.2	2,335,011.70	1.1	98.5	—	1.4
5 月 末	10,145	1.5	2,333,429.89	1.1	97.2	—	3.0
6 月 末	10,375	3.8	2,384,147.84	3.3	95.7	—	4.8
7 月 末	10,492	4.9	2,408,974.84	4.3	95.8	—	3.9
8 月 末	10,563	5.6	2,417,361.62	4.7	90.8	—	8.8
9 月 末	11,034	10.3	2,523,032.29	9.3	93.0	—	6.7
(期 末) 2017年10月12日	11,253	12.5	2,572,056.02	11.4	90.9	—	9.4

(注1) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2017年3月21日から2017年10月12日まで）

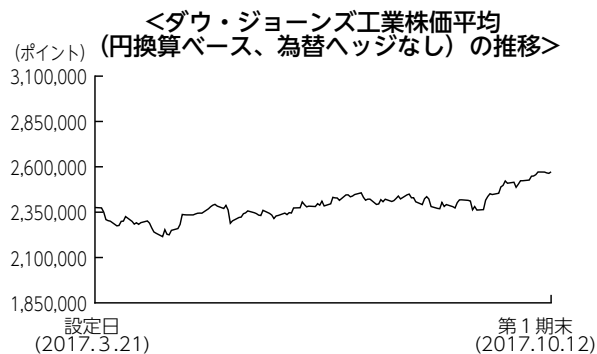


基準価額の推移

当期末の基準価額は11,253円となり、設定来で12.5%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

設定当初は、米国株式が軟調に推移し、ドルが対円で下落したことから基準価額は下落しました。4月下旬以降は、フランス大統領選挙でマクロン氏が当選したことを支援材料に、米国株式が上昇しドルも反発したことから、基準価額は上昇に転じました。その後は、ドル円は上下に振れましたが、米国株式が上昇基調となったため、基準価額は概ね上昇基調をたどりました。



投資環境

設定来の米国株式市場は、大幅な上昇となりました。設定当初は軟調な展開となりましたが、4月下旬以降、フランス大統領選挙でマクロン氏が当選したことを支援材料に上昇しました。7月には、米国の好調な経済指標や良好な企業業績の発表を受け一段と上昇しました。8月には北朝鮮問題やハリケーンの影響を受けて軟調な展開となりましたが、9月にはF R B（米連邦準備理事会）によるバランスシートの縮小開始決定を受けた長期金利の上昇や原油価格の上昇を好感し、米国株式市場は再び上昇基調に戻りました。

設定来のドル／円相場は、1ドル＝108～114円台での値動きとなりました。米国株式が下落し、リスク回避的な市場環境時には円高ドル安が進み、1ドル＝108円台を付ける局面がありましたが、いずれも短期的な動きにとどまりました。

ポートフォリオについて

ベンチマークであるダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致させたポートフォリオを構築しました。

【運用状況】 2017年10月12日現在

○組入上位10業種

No.	業種	組入比率
1	資本財	20.5%
2	その他	9.4
3	各種金融	9.1
4	ソフトウェア・サービス	9.1
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.5
6	エネルギー	5.5
7	ヘルスケア機器・サービス	5.3
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.2
9	小売	4.5
10	消費者サービス	4.5

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種はG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

(注3) その他にはE T F等が含まれます。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは設定来で11.4%上昇しました。当ファンドはベンチマーク比で+1.1%となりました。ファンドとベンチマークの差の要因としては、ファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないことなどがあげられます。

今後の運用方針

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売買委託手数料	3円	0.031%
(株 式)	(1)	(0.014)
(投資信託受益証券)	(2)	(0.017)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
(株 式)	(0)	(0.000)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)
(c) その他費用	13	0.125
(保管費用)	(12)	(0.120)
(そ の 他)	(1)	(0.005)
合 計	16	0.157

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,377円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については6ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況 (2017年3月21日から2017年10月12日まで)

(1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	ア メ リ カ	百株 425.1 (3.8)	千アメリカ・ドル 4,318 (-)	百株 3.8	千アメリカ・ドル 24

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
アメリカ	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル	
SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	9.651 (-)	2,061 (-)	7.528 (-)	1,606 (-)	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は合併、分割等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	485,972千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	427,091千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)÷(b)	1.13

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2017年3月21日から2017年10月12日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 外国株式

銘柄	株数	期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカ・ドル	千円	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	14.17	209	23,522	情報技術サービス
AMERICAN EXPRESS CO	14.17	130	14,653	消費者金融
APPLE INC	14.17	221	24,944	コンピュータ・周辺機器
VERIZON COMM INC	14.17	69	7,785	各種電気通信サービス
BOEING CO	14.17	370	41,658	航空宇宙・防衛
CATERPILLAR INC	14.17	182	20,491	機械
JPMORGAN CHASE & CO	14.17	137	15,430	銀行
CISCO SYSTEMS INC	14.17	47	5,352	通信機器
COCA-COLA CO/THE	14.17	65	7,345	飲料
THE WALT DISNEY CO	14.17	139	15,703	メディア
EXXON MOBIL CORP	14.17	117	13,161	石油・ガス・消耗燃料
GENERAL ELECTRIC CO	14.17	32	3,676	コングロマリット
GOLDMAN SACHS GROUP INC	14.17	343	38,624	資本市場
HOME DEPOT INC	14.17	234	26,331	専門小売り
INTEL CORP	14.17	55	6,262	半導体・半導体製造装置
JOHNSON & JOHNSON	14.17	193	21,774	医薬品
MCDONALD'S CORPORATION	14.17	231	25,996	ホテル・レストラン・レジャー
MERCK & CO.INC.	14.17	90	10,162	医薬品
MICROSOFT CORP	14.17	108	12,176	ソフトウェア
3M CO	14.17	306	34,499	コングロマリット
NIKE INC-CL B	14.17	72	8,131	繊維・アパレル・贅沢品
PFIZER INC	14.17	51	5,808	医薬品
PROCTER & GAMBLE CO	14.17	129	14,573	家庭用品
THE TRAVELERS COMPANIES INC	14.17	177	20,014	保険
CHEVRON CORP	14.17	169	19,014	石油・ガス・消耗燃料
UNITED TECHNOLOGIES CORP	14.17	166	18,762	航空宇宙・防衛
UNITEDHEALTH GROUP INC	14.17	276	31,113	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
WAL-MART STORES INC	14.17	121	13,660	食品・生活必需品小売り
VISA INC	14.17	153	17,279	情報技術サービス
DOWDUPONT INC	14.17	101	11,412	化学
合計	株数 銘柄	金額 30銘柄	金額 4,707 529,320	比率 <90.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 外国投資信託受益証券

銘柄	株数	期末	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千口	千アメリカ・ドル	千円
SPDR DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE ETF TRUST	2,123	485	54,576
合計	口数 銘柄	金額 485	金額 54,576
		比率 1銘柄<9.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、期末の純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

■投資信託財産の構成

2017年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円 529,320	% 89.6
投 資 信 託 受 益 証 券	54,576	9.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,696	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	590,593	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、581,636千円、98.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2017年10月12日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.45円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年10月12日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	593,302,958円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,359,362
株 式(評価額)	529,320,214
投 資 信 託 受 益 証 券(評価額)	54,576,374
未 収 入 金	2,709,804
未 収 配 当 金	337,204
(B) 負 債	11,032,223
未 払 金	11,032,223
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	582,270,735
元 本	517,443,172
次 期 繰 越 損 益 金	64,827,563
(D) 受 益 権 総 口 数	517,443,172口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,253円

(注1) 期首元本額 299,999,000円
追加設定元本額 252,340,025円
一部解約元本額 34,895,853円

(注2) 期末における元本の内訳
たわらノーロード NYダウ 517,443,172円
期末元本合計 517,443,172円

■損益の状況

当期 自2017年3月21日 至2017年10月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,223,402円
受 取 配 当 金	5,225,350
受 取 利 息	1,019
支 払 利 息	△2,967
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	54,221,408
売 買 益	61,375,432
売 買 損	△7,154,024
(C) そ の 他 費 用	△560,075
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	58,884,735
(E) 解 約 差 損 益 金	△1,629,147
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	7,571,975
(G) 合 計(D+E+F)	64,827,563
次 期 繰 越 損 益 金(G)	64,827,563

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。